

コンテンツを重点的に監視している。例えば企業の提供するオンラインゲームなどは、青少年に有害な内容であるか否かを重点的に審査される。ただし、技術的な部分には踏み込まず、あくまでディスプレイに表示される中身の判断のみを行っている。FSM は法の解釈に関して細かく規定しており、それは独自の判断基準として明文化され、各審査員に共有されている。

■eco

各国インターネットホットライン機関の国際協力機関である INHOPE との協力によって、海外違法サイトの内容の削除・変更要請から実施までにかかる期間も大幅に短縮されたが、eco は、通報を受けてからコンテンツが修正されるまでにかかる反応時間に多大な注意を払っている⁴⁰¹。eco はこの反応時間に関して近年大きな進歩があったと考えている。例えばドイツ国内のコンテンツ提供者に対して児童ポルノが含まれていると通報を受けた場合、その 98%は通報から 1 週間以内に内容が削除、変更された（2010 年前半の例）。また、殆どの場合には数日で、早ければ数時間で変更される。最も早いケースでは 5 分以内という場合もあった⁴⁰²。

海外から提供される有害サイトの場合には、まず eco が違法性を判断し、削除または内容の変更の要請を外国の当局または INHOPE に通報する。eco は海外との協力も積極的に強化し、反応時間を短縮したいと考えているが、それにはいくつかの障害がある。それは、各国の刑事訴追機関が、まずは自身で違法性を判断しなおすために生じるタイムラグである。以前のアメリカの場合では、違法性が明らかであるものしか通報することができず、その判断に時間を要し、そのために通報から内容の変更依頼までに、多大な時間が掛かっていた。例えば 7 年ほど前までは、eco が最初にアメリカの担当当局に連絡を入れてから、反応時間がとても長い上に、なんのリアクションも取らないプロバイダも多かったという。また、こういった海外の関係者が関わるケースでは、対応がサイトの遮断で終わることも多く、そのコンテンツはサーバー上に保存されたままである為、コンテンツ提供者が気づけば別の手段でアップロードされる可能性が高かった。そうなると警察は、サイトの遮断後、可能な限り早く捜査を開始し、犯人を特定する必要があった⁴⁰³。

これに対し、図表 30 は eco にドイツ国内から海外のウェブサイトの児童ポルノに関して通報が入り、eco が INHOPE に連絡をとってから内容が変更されるまでに要した時間である。この一年間でも反応時間が大幅に改善されていることが分かる⁴⁰⁴。

⁴⁰¹ Eco Ackermann 氏、 Koch-Skiba 氏とのインタビューより。

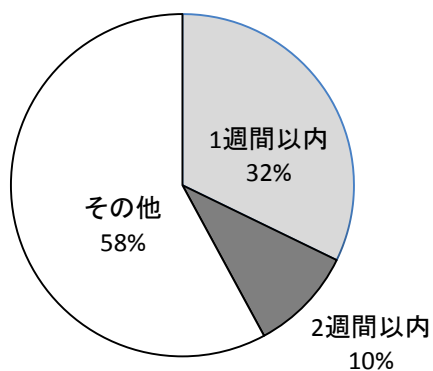
⁴⁰² 同上。

⁴⁰³ 同上。

⁴⁰⁴ 同上。

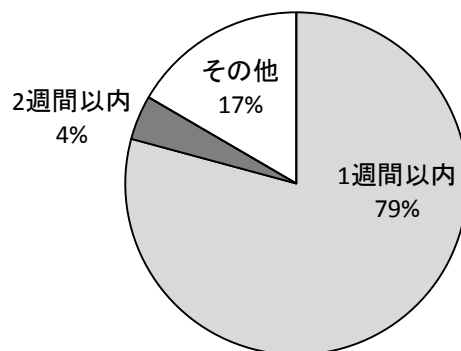
図表 31 eco に通報があつてからコンテンツが変更されるまでにかかる時間

2009年5月～11月



出所；eco Ackermann 氏、Koch-Skiba 氏とのインタビューより

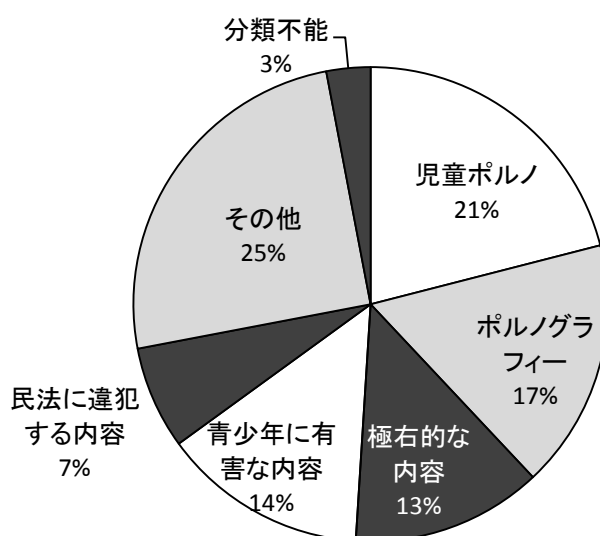
2009年11月～2010年8月



出所；eco Ackermann 氏、Koch-Skiba 氏とのインタビューより

なお、図表 31 は、ホットライン (www.internet-beschwerdestelle.de) に寄せられた通報をウェブサイトの内容で分類したものである。期間は2006年1月から2006年11月まで、通報件数は1,429件である。そのうち、児童ポルノが21%で最も高く、次いで成人のポルノグラフィーである。極右的な内容のものが13%、青少年に有害な内容のものが14%と続く。

図表 32 通報内容の内訳



出所：Aktuelle Herausforderungen im Kinder- und Jugendschutz -Sexuelle Gewalt durch die neuen Medien Dokumentation der Fachtagung am 28./ 29. November 2006 in Berlin、27 ページを基に作成。

2.4.4 ウェブサイト運営者とコンテンツ掲載者、フィルタリング提供事業者等における民事紛争の解決活動

「2.3.5 ウェブサイト運営者等が青少年による有害情報の閲覧を制限する措置などを行った場合における民事責任の制限」(126 ページ) を参照。

2.4.5 青少年に対して危険性があるインターネット上の情報についての相談や苦情などの活動

上述のとおり、インターネット・ユーザーは、FSM と eco が 2004 年に共同で開設したホットライン (www.internet-beschwerdestelle.de) に WWW、ニュースグループ、携帯電話のコンテンツ、スパムなどに関して、その不快な内容について通報を行うことができる。この通報サービスは EU の「Safer Internet Action Plan」の支援を受けており、その目的は警察と監督当局を助け、違法内容をできるだけ早くオンライン上から削除することにある。このサービスを通じて 2003 年には 38 の児童ポルノサークルを解体し、530 人の犯罪容疑者を認知し、745 台のコンピューター、35,500 枚の CD、8,300 のフロッピーディスク、5,800 本のビデオを押収した⁴⁰⁵。

また、FSM は参加企業が提供するチャットサービスの監視にも関与している。チャットサービスの監視では、プラットフォームを技術的に確実に保護すること、警察との協力を密にすることが重要であり、FSM はこの分野でも警察と協力している。

その他、連邦レベルの電話による通報機関としては「Nummer gegen Kummer」が 1996 年から運営されている。なお、この通報機関は青少年保護を主な活動内容としており、青少年のメディア保護に限ったものではない。この通報制度は連邦全土で無料で利用することができ、現在、全国で 94 ヶ所の通報機関が設置されており、年間 900,000 件の通報がある⁴⁰⁶。

2.4.6 その他

連邦家族省が、先述のとおり、少年メディア保護推進キャンペーン推進団体「ネット内の安全なドイツ (Deutschland sicher im Netz)」⁴⁰⁷を立ち上げた。

なお、Blinde-Kuh というサイトは、この「ネット内の安全なドイツ」から援助を設けている総合児童ポータルである。

その他、この「ネット内の安全なドイツ」で紹介されている児童向けのサイトとしては www.kidstation.de (6 歳以上の児童向け)、www.kindernetz.de/reisebuero (8 歳以上向け)、www.lilipuz.de/mausklick (10 歳以上向け) 等々、多様である。また、安全なチャットやメールを行う為の教育サービスとしては、www.kinder-post.de、www.kindernetz.de (8 歳以上)、www.lizzynet.de (12 歳以上) などが紹介されている。

ウェブサイトのフィルタリングだけでなく、スパム等に対する電子メールのフィルタリ

⁴⁰⁵ Sabine Frank、2006 年

⁴⁰⁶ 同上。

⁴⁰⁷ https://www.sicher-im-netz.de/wir_ueber_uns/113.aspx

ングも重要である。電子メールのフィルタリング・ソフトは例えば以下のウェブサイトなどが提供している (www.swr3.de/startpage/index.html?/info/magazin/internet/spam/)

⁴⁰⁸。

青少年メディア保護に取り組むウェブサイト⁴⁰⁹

青少年メディア保護に取り組むウェブサイトは以下のとおりである。

児童向けポータルサイト

www.blinde-kuh.de

1997年開設の児童向け総合ポータルサイト。開設当時は個人サイトであったが、2004年から連邦家族省の支援を受けている。専従職員もいるが、ボランティアも多く参加している。その他、多くの団体と協力しており、賞も受けている。

児童向けサーチエンジン

www.chatten-ohne-risiko.de

児童向けチャットサービスポータルサイト。バーデン＝ヴュルテンベルク州、青少年保護ネットと協力している。児童及び青少年向けの安全なチャットサービスの使い方についての情報を提供している。

インスタント・メッセージ専門の安全指針情報提供サイト

www.fragfinn.de (Kinder-Portal mit Schutz-Software)⁴¹⁰

FragFinnでは児童保護のためのソフトウェアを無料で提供している。Windows XP、windows Vistaなどに対応しており、児童が安全にネット利用できるように設定ができるようになるソフトウェアの提供を行っている。これを使えば、児童はメディア関連の教育機関によって厳しく審査されたウェブサイトしか閲覧できなくなる。現在（記事発表当時）4,200のインターネットドメインと3,000万のウェブサイトが閲覧許可を得ている。このプログラムは連邦政府、インターネット関連の大企業、BITKOM、その他団体によって運営されている。

このサイトでは他にも若者に公正なポータルの運営も行っている。サーチエンジン、ニュース、検索のヒントなどを提供している。

児童向けのポータルサイト

www.internauten.de

⁴⁰⁸ 連邦家族省、2004年「Ein Netz für Kinder」

⁴⁰⁹ <http://www.digitale-chancen.de/content/stories/index.cfm/aus.2/key.2623/secid.11/secid2.33>

⁴¹⁰ <http://www.digitale-chancen.de/content/stories/index.cfm/aus.2/key.2623/secid.11/secid2.33>

児童向けのサーチエンジンも提供しているウェブサイトである。「ネット内の安全なドイツ」プログラムの一環である。Microsoft も参加している。

児童向けのポータルサイト

www.internet-abc.de

安全なオンライン情報検索のためのヒントを提供する。UNESCO の傘下であり、姉妹サイトとして両親、教育者向けの情報サイトもある。

児童向けのポータルサイト

www.netzcheckers.de

児童向けのポータルサイトで、特に携帯電話の利用方法に焦点を当てている。壁紙、呼び出し音などもダウンロード出来る。連邦家族省の支援を受けており、ドイツ連邦国際児童労働研究所のプロジェクトの一環である。

専門家向け情報提供サイト、多数のレポートも公開

www.klicksafe.de

未成年者の安全なインターネット利用に向けた情報提供サイトである。EU により設立され、数多くの青少年保護団体と協力関係にある。

保護者と教師のための指針を集めたサイト

www.klick-tipps.net (Surf-Tipps für Kinder, Infos für Erwachsene)

青少年メディア保護のためのウェブサイト、教育的なサイトを紹介するウェブサイトである。青少年保護ネットが提供している。